

We create.



We create.
ハリタ金属株式会社

ハリタ金属株式会社 本社

〒939-0135 富山県高岡市福岡町本領1053-1

ご注文専用ダイヤル

☎ 0120-530-274

TEL:0766-64-3516(代) FAX:0766-64-3046

射水リサイクルセンター

〒934-0035 富山県射水市新堀34-11

TEL:0766-86-4811(代) FAX:0766-86-4812

金沢支店

〒924-0051 石川県白山市福留町524-1

TEL:076-277-3993(代) FAX:076-277-2189

富山支店

〒931-8332 富山県富山市森2-9-20

TEL:076-426-0330(代) FAX:076-426-0331



HP



X



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



このパンフレットは古紙80%の再生紙を使用しています。
また、印刷は環境に配慮した植物油インキを使用しています。

世界に循環を、 あなたと幸せを。

私たちの会社は、
何のためにあるのだろうか。

リサイクルをするためだろうか。

すべては、資源を高度に循環させ、
人々がずっと幸せに暮らしていける社会を
つくることにある。

さあ、いこう。
世界に循環を、あなたと幸せを。

Top Message

リサイクルという言葉も随分社会へ浸透しました。複雑な環境問題を背景に、社会問題を解決するための手段の一つとして、循環型社会を創造する重要性は、多くの人が理解しています。その中、我々はさらに持続可能な社会をつくるために、「技術」と広義の意味での「ソフト」の両輪を回転させ、新しい概念で社会問題を積極的に解決することを、事業主体としていきます。素材そのものの価値を最大限に引き出し、新しい概念の素材をつくり、新たな社会的意義のある価値をつくり出していきます。

経営理念「We create. 私たちは、つくる。」この「つくる」に込めた思いは、事業価値そのものだけではなく、社員一丸でつくる「いい会社」「強い会社」「いい人」「強い人」など多くの価値を「つくる」会社であるということです。我々は、これからも社員一丸となって挑戦し続け、循環社会の構築に革新をもたらすことで、人々の生活と社会をより豊かなものにしていきたいと強く願っています。今後も、お客様、社会のお役に立てるよう日々精進していく所存です。挑戦し、進化し続けるハリタ金属にご期待ください。



代表取締役 張田 真

会社概要

法人名称 / ハリタ金属株式会社
設立 / 1975年8月(創業 1960年6月)

ハリタ金属株式会社 本社 / 〒939-0135 富山県高岡市福岡町本領1053-1
射水リサイクルセンター / 〒934-0035 富山県射水市新堀34-11
金沢支店 / 〒924-0051 石川県白山市福留町524-1
富山支店 / 〒931-8332 富山県富山市森2-9-20

代表者 / 代表取締役 張田 真(はりた まこと)
資本金 / 5,000万円

事業内容 / ●産業廃棄物の収集運搬・中間処理
●一般廃棄物の収集運搬・中間処理
●鉄スクラップの破碎・選別(製鋼原料の回収)
●家電リサイクル事業
●自動車リサイクル事業
●二輪車リサイクル事業
●小型家電リサイクル事業

ISO14001:2015認証取得 適用範囲:全拠点

ISO45001:2018認証取得 適用範囲:全拠点

ISO27001:2013認証取得 適用範囲:本社工場、射水リサイクルセンター、金沢支店、インターステーション

沿革

1960年 6月 張田商会として高岡市にて創業開始
1965年 自動車リサイクル開始
1971年 ハリタ商会として福岡工場設立・移転
1975年 8月 組織変更を行い、ハリタ金属(株)設立
1975年 9月 500tギロチンを導入し、鉄スクラップの破碎処理を開始(本社工場)
1976年 7月 産業廃棄物収集運搬業(富山県)の許可取得
1978年 アルミエンジン溶解炉 特許取得及び製造販売開始
1979年 9月 産業廃棄物処分業(富山県)の許可取得
1985年12月 アルミ溶解回転炉・分析機を導入(本社工場)
1991年 8月 1,500HPシュレッダー・300HPプレシュレッダーを導入し、鉄スクラップの処理能力を増強(本社工場)
1992年10月 産業廃棄物収集運搬業(石川県)の許可取得
1995年 1月 ハリタ金属(株)金沢支店を設立
1997年 9月 1,000tギロチンを導入(金沢支店)
1998年11月 産業廃棄物処分業(石川県)の許可取得
2000年 5月 700HPプレシュレッダー導入(本社工場)
2000年 9月 産業廃棄物収集運搬業(新潟県)の許可取得
2001年 4月 家電リサイクル法施行に伴い、再商品化施設に認定
家電リサイクル法施行に伴い、富山支店、営業開始
2001年10月 シュレッダーダスト圧縮機、冷蔵庫断熱材フロン回収機を本社工場に導入(家電リサイクル対応)
2003年 5月 本社サイト ISO14001認証取得
2004年10月 二輪車リサイクル開始
2004年12月 産業廃棄物収集運搬業(滋賀県)の許可取得
2006年 1月 重液選別装置導入(本社工場)
2008年12月 射水リサイクルセンター稼働
2,000HPシュレッダー・750HPプレシュレッダー導入(射水リサイクルセンター)
2010年 6月 1,250tギロチン導入(射水リサイクルセンター)
2013年 6月 小型家電リサイクル法の認定事業者認定
2014年 8月 アルミニウム合金製造事業を素材販売事業へ事業転換(環境負荷軽減)
2019年 5月 射水リサイクルセンターのシュレッダー第2工場稼働
2020年 2月 産業廃棄物収集運搬業(京都府)の許可取得
2021年 3月 射水リサイクルセンター ISO14001認証追加登録
2021年10月 ASR再資源化事業開始
2022年 4月 本社サイト、射水RCサイト、富山支店サイト ISO45001認証取得
経済産業省のGXリーグ基本構想に賛同
2022年 8月 中小企業向けSBTi(Science Based Targets)の認定取得
2023年 3月 富山支店・第2工場・インターステーション ISO14001認証追加登録
2023年 4月 本社サイト・射水RCサイト・富山支店サイト・インターステーション ISO27001認証取得
金沢支店サイト ISO45001認証追加登録

We Create.

私たちはつくる、価値ある循環を。

We Change.

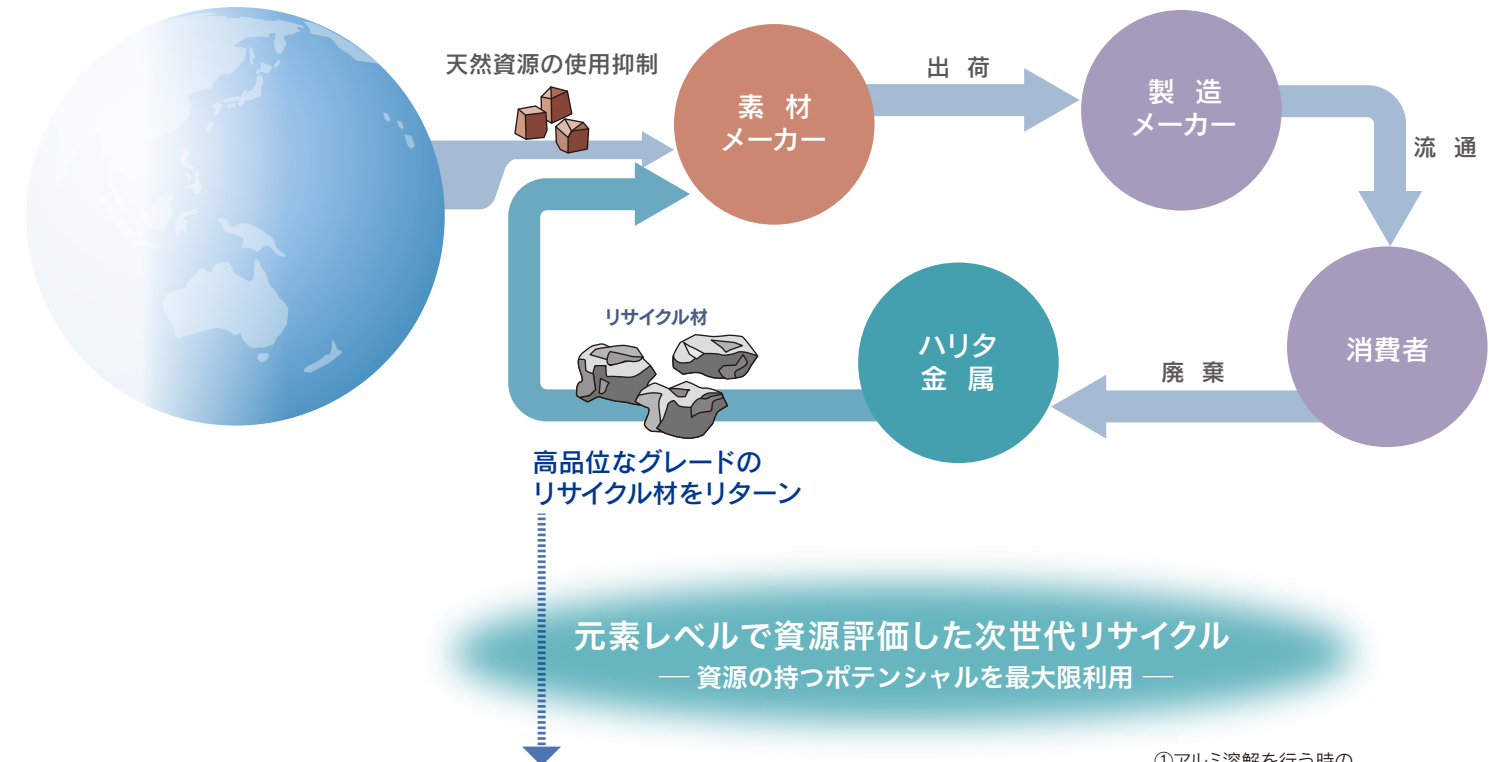
私たちは変えていく、地球の未来を。

Well-being.

あなたと幸せを。

私たちは「次世代技術」で社会をつくる

私たちの技術・経験を活かして、「天然資源の使用抑制」「二酸化炭素削減」などの社会的課題を解決する製品・システムを生み出し企業価値と社会価値を同時に創出していきます。



Product to Product

使用済み製品で同じ製品の「素材」をつくる、低炭素型リサイクル

製品材料に使用される金属は、鉱物資源から大きなエネルギーを消費して製造されています。また、その金属のほとんどが様々な元素で構成される「合金」です。私たちは、その「合金」を構成する元素レベルで「素材」を最大限有効利用できるリサイクルシステムを通じて、元素レベルの資源の有効利用と、二酸化炭素削減につながる低炭素型リサイクルを構築しています。

- ①アルミ溶解を行う時のエネルギー使用量 約0.3kℓ/t
- ②重液選別によるエネルギー使用量 約0.016kℓ/t

アルミリサイクルによるエネルギー削減量
①-②=0.284kℓ/t

アルミリサイクルによる二酸化炭素削減量
0.74t
(原油1kℓあたり2.62tで算出)

※原油換算



●サッシ系アルミ資源

合金番号	化学成分(%)											
	Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	V・Ni B・Zr等	Ti	その他 個々 合計	Al	
6063	0.20 ~0.6	0.35 以下	0.10 以下	0.10 以下	0.45 ~0.9	0.10 以下	0.10 以下	—	0.10 以下	0.05 以下	0.15 以下	残部

リサイクルプラント

シュレッダーから選別まで自動化した、「素材化プラント」。

例えば自動車のように金属や樹脂類など多種多様な素材が組み合わされた製品を処理・再生することは、つくることと同じくらい困難なことといえるかもしれません。

私たちは、独自のシュレッダーラインを設置し、より正確に効率的に有益な素材を取りだせるように努めています。また射水リサイクルセンターは、すべて屋内に配置した最新のシュレッダー設備を備えています。鉄、アルミ、非鉄金属の回収のみならず粒径のごく小さい資源、ごみに紛れてしまう資源を自動で回収できる選別装置も備えている先進的プラントです。

重液選別ラインは、ミックスメタルと呼ばれるアルミ、銅、ステンレスなどの非鉄金属類を混合物の中から2種類の重液を用いて選別を行います。

高度選別された非鉄金属は精錬・製造会社に供給されて新たな製品に生まれ変わります。

破碎対象物の例



前処理

リサイクル処理前に回収する必要があるものを回収します。

- フロン回収 ※詳しくはP.12参照
業務用冷凍機・エアコン、自動販売機
- バッテリー回収
産業機械など

シュレッダーライン



ローダー
対象物をプレシュレッダーへ運びます。



プレシュレッダー
シュレッダーに入れる前にある程度の大きさまで細かく砕きます。



シュレッダー
対象物を細かく砕きます。

選別ライン



集塵装置
対象物を破碎した際に発生した粉塵を回収します。



磁力選別ライン
磁力で鉄を選別・回収します。



非鉄選別ライン
ミックスメタルを選別・回収します。

次世代型ソーティングシステム



LIBSソーター
元素レベルのリサイクル



ジグ選別ライン
比重選別



ダスト保管ヤード



減容・圧縮機

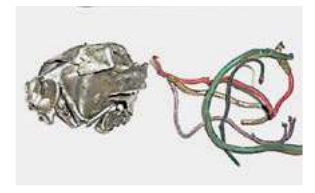


シュレッダー鉄
製鉄メーカーでリサイクルします。

射水リサイクルセンターでは、ダスト成分から、従来回収できなかった資源も回収可能になりました。



金銀銅滓、レアメタル
金銀銅滓 1t中に100g以上の「金」が含まれています(佐渡金山は、鉱石 1t中に約 3gでした)。金以外に銀、銅、パラジウム等も含まれます。



ステンレス、銅線類
金属センサーを用いた選別により、ダスト中の金属資源を自動で選別します。

重液選別ライン



廃棄物ソリューション事業

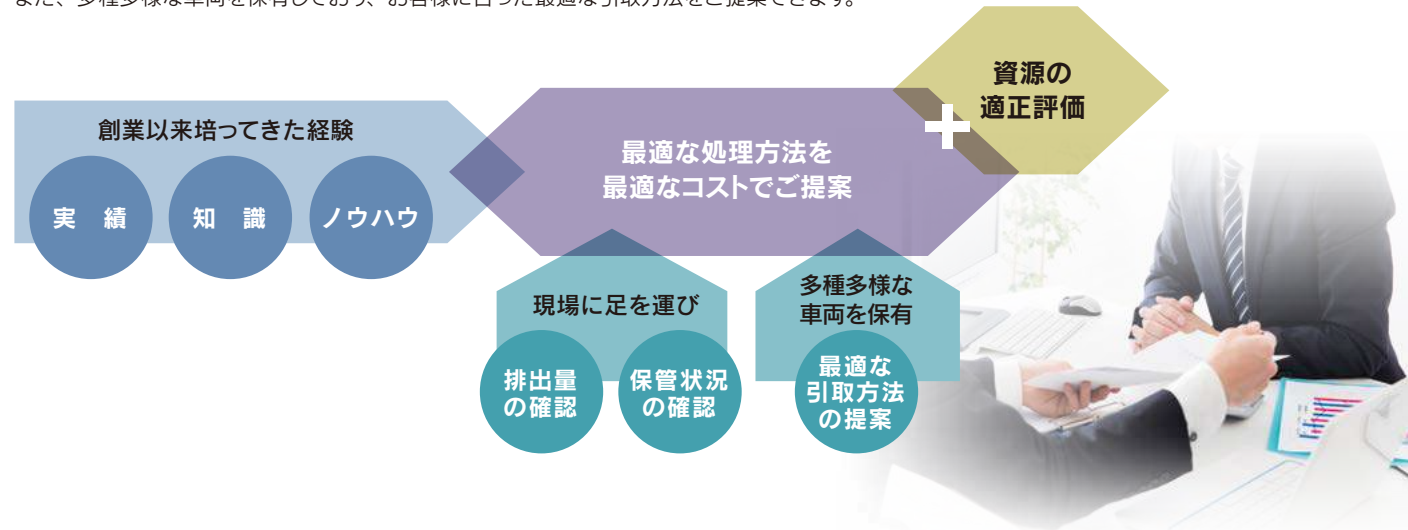
お客様の課題解決をサポート「廃棄物コンサルティング」

私たちは、創業から鉄スクラップ回収業としてスタート以来、ひとすじに「リサイクル」「廃棄物処理」を企業テーマとして全力で取り組んでまいりました。この培ってきた経験により、様々な実績、知識、ノウハウを兼ね備え、お客様をトータルでサポートさせていただきます。

お客様が現在行なっている廃棄物の処理方法や有価物を適正に判断し、最適な処理方法を最適なコストでご提案します。もちろん私たちの高度リサイクル技術により資源を適正に評価させていただきます。

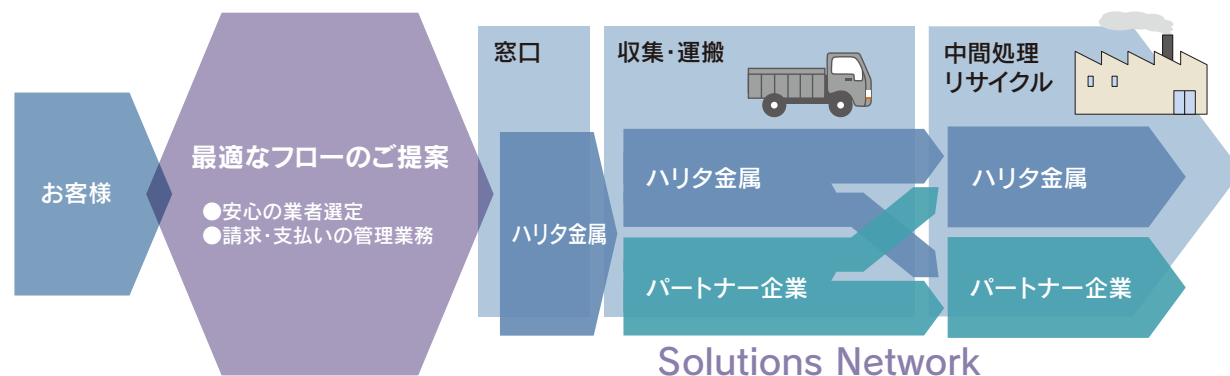
廃棄物・有価物の分別自体は大切なことなのですが、ただ分別すればよいというものではありません。私たちは実際に現場に足を運び、お客様の廃棄物・有価物の排出量や保管場所の状況を確認し、現場作業・管理の作業軽減・効率化を支援します。

また、多種多様な車両を保有しており、お客様に合った最適な引取方法をご提案できます。



多様化に対応するソリューションネットワーク

近年の産業構造の高度化、消費生活の多様化に伴い、廃棄物の大量排出や質的多様化が進んでいます。このため、従来の処理方法だけでは、最終処分場のひっ迫を招く恐れがあるため資源の循環的利用を促進する取組が行われています。また、排出事業者からは、ゼロエミッション支援、処理コストの適正化、コンプライアンスなど法律を遵守しながら効率のよい廃棄物処理を行いたいという要求もあります。こういった中で、私たちが窓口になり信頼のおけるパートナー企業とネットワークを構築し廃棄物ごとの最適な処理フローをお客様にご提案します。



お客様の企業価値を守る「コンプライアンス・サポート」

現代社会では、企業の社会的責任を背景に、廃棄物等の適正処理・リサイクルを推進していくことが強く求められています。廃棄物処理は法律や条令で厳しく制定されており、適正ではない場合は行政処分となる場合があります。

度重なる法改正により排出事業者に対する責任が年々厳しくなっています。廃棄物を排出する事業者には、廃棄物の分別や保管、処理委託先との契約手続き、マニフェストの管理など、廃棄物処理法に定められた様々な業務があります。廃棄物処理のプロとして、このような煩雑な業務の管理体制をサポートし、コンプライアンス・企業価値の向上に貢献いたします。



お客様へ「安全と安心」を提供

●安全第一の作業

私たちは、安全衛生活動・リスクマネジメントを行い万全の安全管理体制を構築しています。作業の中に潜むリスクを排除して、お客様に安心してお任せ頂けるように取り組んでいます。社員には、定期的に安全ミーティングを行い、徹底した安全教育を実施しています。収集運搬作業においても、過積載することなく法令遵守し安全運転を徹底しています。

(過積載は荷主も罰せられる場合があります)



リスクアセスメント



安全運転講習

●安心の計量システム

計量システムは、金属の買取価格・廃棄物の処理価格において非常に重要な部分です。私たちは、計量法に従った定期検査を受けたトラックスケールを全拠点に導入していますので、正確な計量を行い安心してお取引をいただけます。

(計量法第118条の規定に従い検査合格)



本社 80tトラックスケール

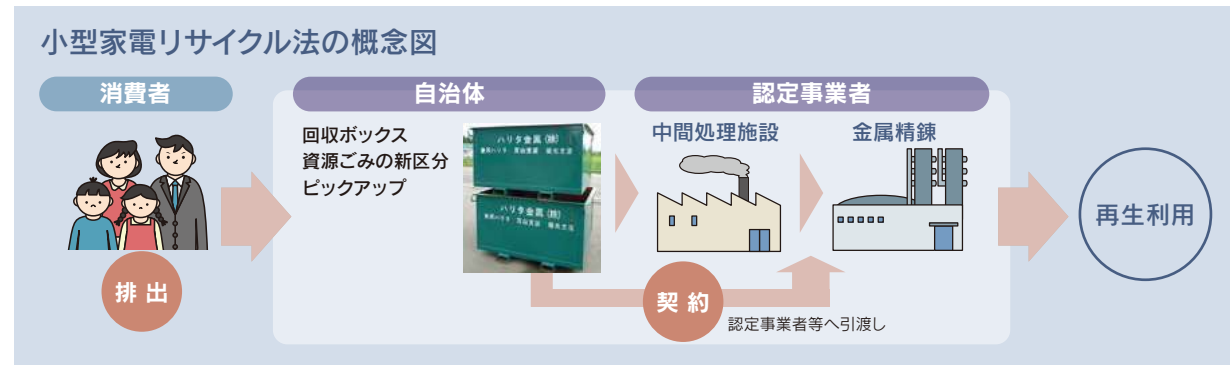


射水RC 80tトラックスケール

リサイクル事業

小型家電リサイクル [小型家電認定事業者]

2013年4月1日より、使用済み小型電子機器等の再資源化を促進するための小型家電リサイクル法が施行されました。小型家電リサイクル法は、自治体の枠を超えて広域的に小型家電を収集することにより、自治体と認定事業者の採算性を確保しながら、リサイクルすることを可能とした新しい法制度です。



私たちは、小型家電リサイクル法の認定事業者として国から認定されています。小型家電に含まれる鉄、非鉄、プラスチック、レアメタルなどを回収するための技術を確立しています。これらは、再び原材料や燃料などの高品質な原料代替品として利用されます。



小型家電
大臣認定 第0003号

小型家電認定事業者マーク

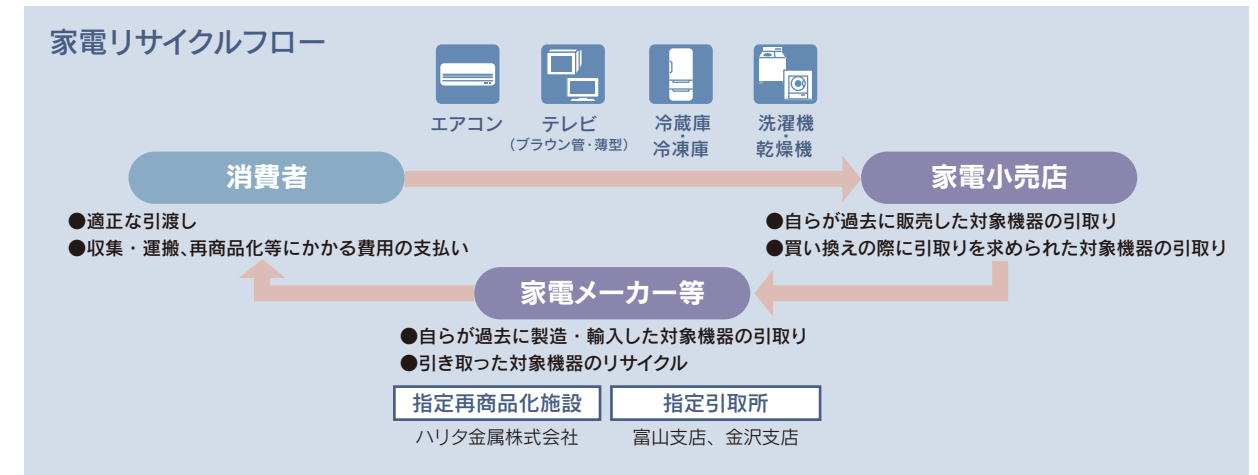
「小型家電認定事業者マーク」は安心して使用済み小型家電の引渡しができることを一目で見分けられる国の認定マークです。

北陸3県を
収集エリアと
しています。

ハリタ金属株式会社

家電リサイクル [再商品化施設認定]

私たちは、2001年4月に施行された家電リサイクル法のAグループの再商品化施設として大臣認定されています。法令で定められた製品(エアコン・ブラウン管テレビ・薄型テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機)から資源を回収し、新しい家電製品の材料としてのリサイクルを行っています。



断熱材フロン回収システム

冷蔵庫本体の断熱材に使用されているウレタンフォームには、発泡時にフロンが使用されています。このため、密閉装置内で破碎して、発生したフロンは専用装置で回収しています。



マテリアルリサイクル

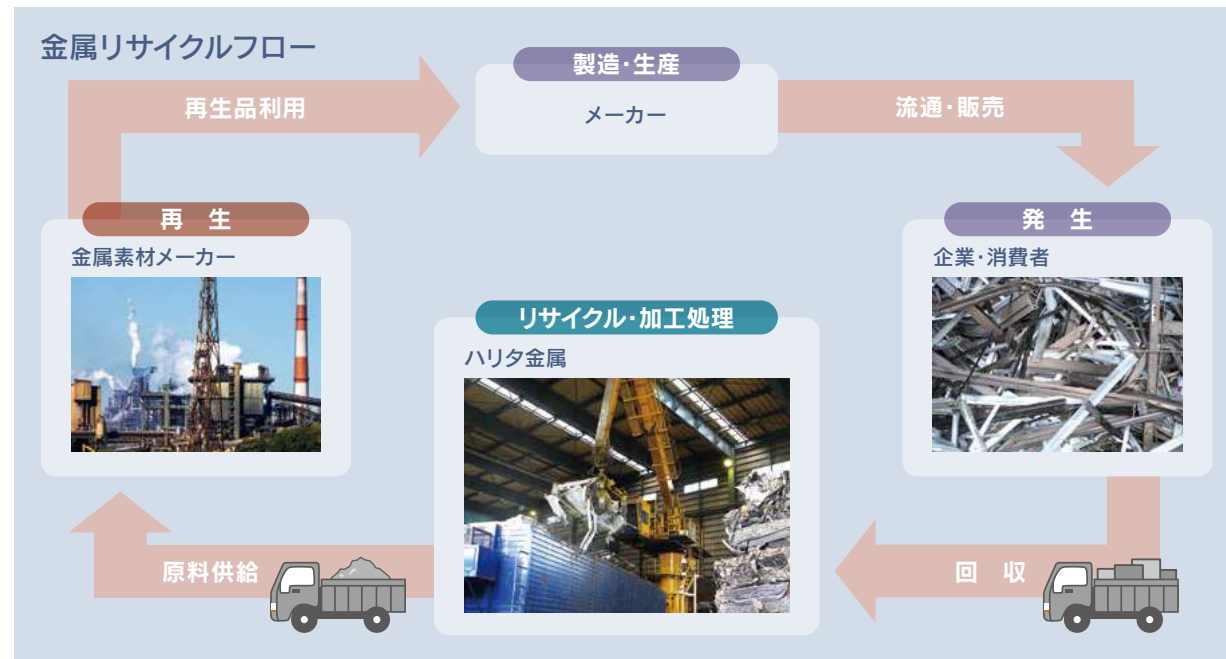
プラスチックは非常に多くの種類があり、リサイクルは困難であると考えられてきましたが、技術革新によりマテリアルリサイクルが可能になりました。私たちは、プラスチックを種類別に回収しています。



リサイクル事業

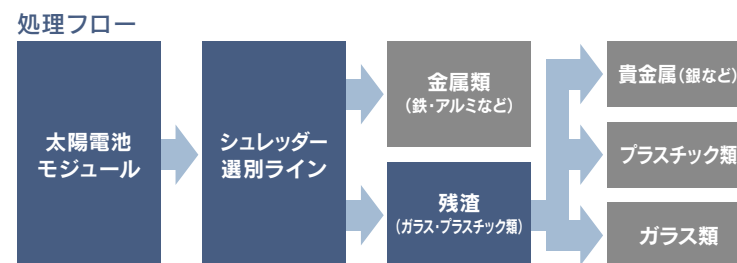
金属リサイクル

鉄をはじめ、アルミ・銅・ステンレスなどの非鉄金属、さらに貴金属・レアメタルまで、様々な金属のリサイクルに対応しています。今まで培った経験を生かしながら、最新技術の導入を図り、質の高い選別を徹底しています。金属スクラップは高品質の金属資源として生まれ変わり循環型社会の構築に貢献しています。



太陽電池モジュールリサイクル

太陽電池モジュールは、FIT(再生可能エネルギー全量買取制度)により急速に普及が進んでいるため、設備導入スピードに対し、いずれは比例して廃棄量も加速度的に増えることが想定されています。私たちは、来たるべく大量廃棄時代へ対応可能な太陽電池モジュールのリサイクルプロセス技術を確立しました。



古紙リサイクル

古紙を回収して、再び紙として使用する古紙リサイクルは、回収率・消費率とも、ますます高くなっています。また、再生紙の品質も向上しています。私たちは、古紙を回収・選別し、再資源化に貢献しています。



木くずリサイクル

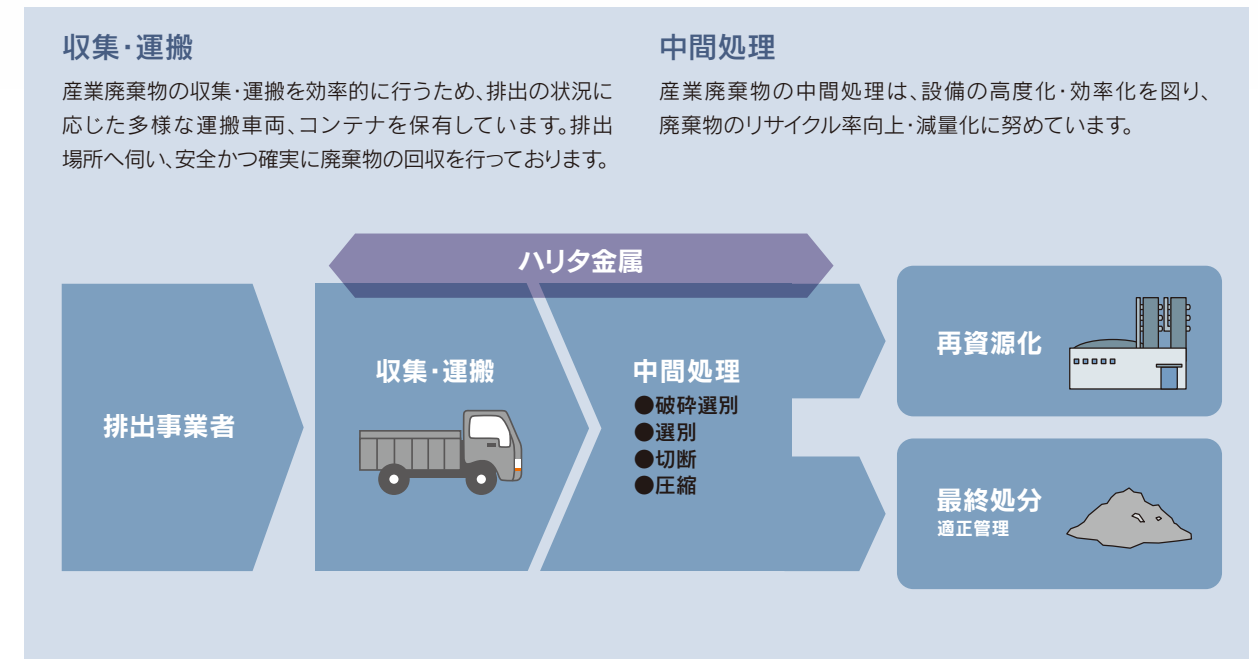
2002年5月に、建設リサイクル法が施行され、分別解体など及び再資源化などが義務づけられました。建設発生木材の再資源化施設として、木材のリサイクルに対応しています。また、化石燃料に替わりうる「燃料」への有効利用にも取り組んでいます。



廃棄物処理事業

産業廃棄物

事業活動において日常的に、あるいは臨時的に排出される廃棄物を、その種類によって適正な収集・運搬、中間処理、再資源化を行っています。お客様からの様々な要望に対して常に最適な処理方法を提案します。



一般廃棄物処理

市町村から一般廃棄物の収集運搬・処分を許可・業務委託を受け、地域社会の環境保全及び廃棄物の資源化減量化に貢献しています。

- 一般廃棄物処分業許可
- 一般廃棄物収集運搬業許可
- 一般廃棄物処理業務委託

フロン回収

業務用のエアコン・冷凍冷蔵庫等のフロン使用製品を廃棄処分する際には、事前にフロン回収が必要です。私たちは、第一種フロン類充填回収業者の認定を受け、適正なフロン回収を行っています。

フロン回収機



拠点一覧

本 社



金沢支店



射水リサイクルセンター



富山支店



車両一覧

平ボディ車



ダンプ車



フックロール車



ウイング車



吸泥車



深ボディ車



パッカー車



ユニック車



トレーラー



大型ヒアブ車



大型フックロール車



設備一覧

シュレッダー

845HP・1,500HP・2,000HP



粗破碎された供給原料を切断、衝撃破碎作用により小片に破碎する破碎装置。シュレッダーにより小片化された供給原料は磁力等により金属、非鉄金属、残渣シュレッダーダスト)に選別される。

ギロチン

1,250t 1基・1,000t 1基



解体時に発生する鉄などを切断し、鉄溶解炉の投入サイズに整える。

メタルソーター

4基



金属センサーによって金属を自動選別する。

重液選別装置

1基



非鉄金属類を2種類の重液にて非鉄金属を自動で比重分離する。

水流式比重選別機

2基



対象物を流選るとして粗選別したのち、水流選別で比重選別後、軽比重プラスチックを回収する。

色選別機

1基



非鉄金属類の表面の色で素材を判別し、自動選別する。

減容機

550HP 2基



残渣(シュレッダーダスト)を減容、固形化し、その後の処理を容易にする。

断熱材フロン回収機

1基



シュレッダー破碎時に発生する粉じんやフロンガス含有空気から、ダストを除去、フロンガスを回収する。

プレス

2基



三方締めによる油圧プレス装置。自動車や産業廃棄物などを減容する。

LIBSソーター機

1基



レーザー照射を行って含有元素を分析し合金の種類を識別・選別する。

ジグ式湿式選別機

1基



処理対象物を選別槽に供給し、水流を与えて比重別に成層させ分離させる。